

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2025年 2月 1日

事業所名： レインボーキッズメソッド4

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	100%				50%	25%		25%	利用する児童が多い日には、部屋が狭く感じることもある。	利用児童が多い日には、活動場所を分けたり空き部屋を利用したりする等、臨機応変に対応したい。
	2 職員の適切な配置		100%			38%	37%		25%	・送迎時等、人員が足りていないように感じることがある。 ・職員の専門性については不明だ。	送迎ができる職員の確保に努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	100%			・児童の特性に応じて、個別の支援ツールを作成している。 ・どの児童にとっても視覚的に理解しやすいような配慮をしている。	88%			12%		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	100%			・児童の受け入れ前後には丁寧な掃除を実施している。 ・感染症が流行する時期には、こまめな換気、アルコール消毒も行っている。	75%	13%		12%		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	50%	50%			/	/	/	/		勤務時間の都合で話し合いに参加できない職員の意見も積極的に取り入れていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		50%	50%	事業所アンケートの結果や、保護者からのご意見を踏まえて、業務の改善に努めている。	/	/	/	/		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	50%	50%		職員によっては、事業所の外部で行われている研修や講演会等にも参加している。	/	/	/	/		職員全体の資質の向上を図るためにも、研修書類の共有や内容を報告する機会を設けたい。
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	100%				75%	25%				
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100%				75%	12%		13%		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	50%	50%		保護者と児童の意見を基に、職員全員で支援内容について検討している。	75%	25%				
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	100%				/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1	100%			不明な点はないか、確認を取りながら説明を行うように心掛けている。	100%					
	2	100%				87%	13%				
	3	50%	50%			37%	13%	37%	13%	色々な機関に関わることがあるので、放デイでペアトレ等が行われなくてもかまわない。	ペアレントトレーニングについて学ぶ機会を設けたい。
	4	100%			連絡帳でのやり取りや、送迎時の機会を捉えて、保護者と児童の様子について共有をしている。	87%	13%				
	5	50%	50%			63%	25%		12%		
	6		100%			25%	12%	13%	50%	住んでいる地域も様々であるため、保護者会等で集まるのは難しいと思う。	
	7	100%			問題を先延ばしにせず、迅速に対応できるように努めている。	63%	25%		12%		
	8	100%				87%	13%				
	9		100%		毎月の利用予定表と併せて、レク活動のお知らせを配布している。	87%	13%				
	10	100%				87%	13%				

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	100%				50%	37%		13%	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	100%				63%	25%		12%	今後も、定期的な避難訓練を実施していく。
	3 服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	100%			服薬の変更や発作があった際には、当所に報告して頂くように保護者へお願いをしている。必要に応じて、学校、併用先の放デイとも連携が取れるように段取りをしている。	50%	38%		12%	
	4 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	50%	50%							
	5 安全管理の徹底	50%	50%			63%	25%		12%	
	6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	100%				75%	13%		12%	
	7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100%			ヒヤリハット及び事故が生じた際には、職員間で内容を共有し、再発防止に努めている。					・ヒヤリハットを判断する基準が職員によって異なるため、些細なことでも報告していく。 ・共有できるような雰囲気作りをしていきたい。
	8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100%								
	9 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	50%	50%		現在該当する事例はないが、今後必要になってくるだろうと感じている。					